

小5 (新小6)	受験 番号		氏 名	
-------------	----------	--	--------	--

# 入塾試験サンプル

## 小5 (新小6)

### 算 数

#### [ご注意]

1. この「入塾試験サンプル」は、実際の入塾試験よりも問題数を減らしたサンプル版となっています。
2. 実際の入塾試験では、問題によってはやや難易度なんいどが高い問題が出題される場合もあります。
3. 実際の入塾試験も、問題冊子もつしと解答用紙は別々に分かれていますので、本番と同じように解答は解答用紙に記入して下さい。

# 入塾試験サンプル問題 小5(新小6) 算数

1 次の問いに答えなさい。

(1)  $\frac{75}{90}$  を約分して、最も簡単な分数かんたんにしなさい。

(2)  $3\frac{2}{3} - \frac{4}{5}$  を計算しなさい。

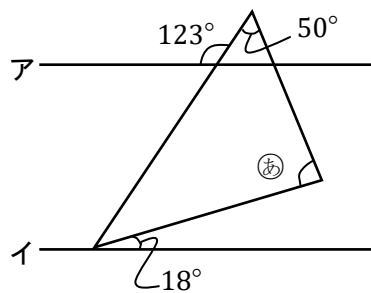
(3) 60 の約数は、全部で何個ありますか。

(4)  $0.8 \times 4.9 \times 12.5$  をくふうして計算するとき、 のア、イにあてはまる数をそれぞれ答えなさい。

$$0.8 \times 4.9 \times 12.5 = 4.9 \times \boxed{\text{ア}} = \boxed{\text{イ}}$$

- (5) 3個のぎょうざの重さをはかったら、68g、73g、72gでした。  
このぎょうざ1個あたりの平均の重さは何gですか。

- (6) 右の図で、㊦の角の大きさは何度ですか。  
ただし、アとイの直線は平行です。



**2** AとBの2つのベルがあります。Aは4分ごと、Bは6分ごとに鳴ります。いま、AとBの2つのベルが同時に鳴りました。これを1回目として次の問いに答えなさい。

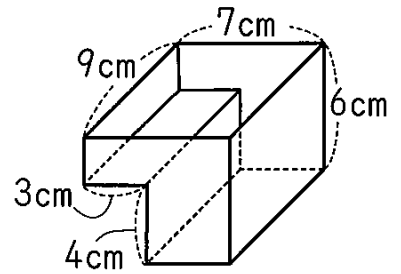
(1) AとBの2つのベルが3回目に同時に鳴るのは、いまから何分後ですか。

(2) AとBの2つのベルが8回目に同時に鳴りました。このときまでに、Aのベルは何回鳴りましたか。

3 図のような、直方体を組み合わせた形をした容器に水を入れるとき、次の問いに答えなさい。ただし、容器の厚さは考えないものとします。

(1) この容器に水をいっぱいに入れたとき、その水の体積は何  $\text{cm}^3$  ですか。

(2) この容器に  $175.5 \text{ cm}^3$  の水を入れたとき、水面の高さは底から何  $\text{cm}$  になりますか。



# 解答

1

(1)  $\frac{5}{6}$

(2)  $2\frac{13}{15}$  (または $\frac{43}{15}$ )

(3) 12 (個)

(4) ア…10 イ…49

(5) 71 (g)

(6) 91 (度)

2

(1) 24 (分後)

(2) 22 (回)

3

(1) 270 (cm<sup>3</sup>)

(2) 4.5 (cm)

# 解説

1

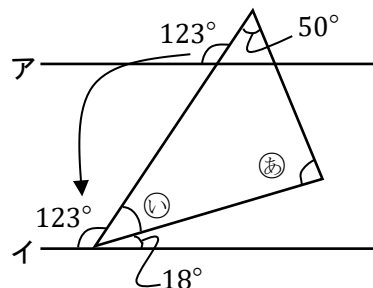
(3) 1, 2, 3, 4, 5, 6, 10, 12, 15, 20, 30, 60 の 12 個です。

(4) 計算のしやすい  $0.8 \times 12.5$  を先に計算します。

(5)  $(68 + 73 + 72) \div 3 = 71$  (g)

(6) 三角形の㉞の角は  $180 - 123 - 18 = 39$  (度)

㉟の角は  $180 - 50 - 39 = 91$  (度) になります。



2

(1) A と B は 4 と 6 の最小公倍数である 12 分ごとに同時に鳴ります。開始時が 1 回目であることに注意すると、 $12 \times (3 - 1) = 24$  (分後)

(2) 8 回目に同時に鳴るのは、 $12 \times (8 - 1) = 84$  (分後)

$84 \div 4 = 21$  (回) と最初に鳴っている分を合わせて 22 回

3

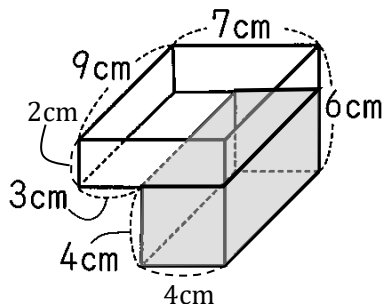
(1) 図のように 2 つの直方体に分けて考えます。

$$9 \times 4 \times 4 + 9 \times 7 \times 2 = 270 \text{ (cm}^3\text{)}$$

(2) 下の直方体には水が  $144 \text{ cm}^3$  入りますので、残りは  $175.5 - 144 = 31.5 \text{ (cm}^3\text{)}$  です。

$$31.5 \div 63 = 0.5 \text{ (cm) なので}$$

$$4 + 0.5 = 4.5 \text{ (cm)}$$



# にゅうじゅくしけん じゅけん 入塾試験を受験するみなさんへ

にゅうじゅくしけん  
入塾試験のサンプル問題をやってみていかがでしたか？

じっさい  
実際に出題される入塾試験の問題数は、このサンプルの約2倍あります。  
それを試験時間内に一通り終わらせて入塾基準点に届くためには、問題  
をしっかりと読んで、「速く」そして「正確に」答えることが必要です。

さらに、見たことがない問題も出題されることがあります。これは、今  
までに学習してきたことをもとに考える応用問題です。その問題を解ける  
かどうか、入塾基準点に届くポイントです。

ただし、そのような問題も、今持っている知識や考える力を使って、問題文に書かれていることを理解できれば、必ず解けるようになっています。  
マニアックな知識や考え方が要求されるものではありません。

以上のことをわかった上でしっかりと準備して、入塾試験を受験するよう  
にして下さい。今回入塾試験の申し込みをしてくれたあなたといっしょに  
誉田進学塾で勉強できることを楽しみにしています。健闘を祈ります。

詳細な解説や学習相談については各校舎スタッフにお気軽にお問い合わせください。